

令和5年度 前川光町長とふれあいミーティング 議事録

日時：令和5年5月17日（水）18:30～20:00

場所：円明寺が丘自治会館

出席者：前川光町長、馬場教育長、武田総務部長、蛭原健康福祉部長、藤波環境事業部長、浅田教育次長、事務局（坂口企画財政課長、企画観光係 上田・垣内）

参加者数：18名

次第：1. 令和5年度予算について

2. ご意見等について

【参加者からの意見と回答】

① 町が送付した第10次高齢者福祉計画策定にかかる調査について

（住民）

- ・調査とは言いつつ、封筒と調査用紙に番号が振られており個人が特定される。
- ・個人情報収集するのなら、その利用目的を明記し、回答者に対してその説明が必要だと考えるが、今回の調査ではその旨が明記されていない。

（町職員）

- ・アンケート調査を実施するにあたっては、個人情報収集に係る利用目的を明記し実施させていただいておりますので、そこから逸脱した調査を行ったということはありません。

（住民）

- ・3年前にも同じ調査があり、調査用紙に住所や氏名が印刷されていたので、その当時の担当者に個人情報収集にあたりと話しに行ったことがあるが、今回同じことが繰り返されているし、通し番号が封筒と調査票に振られていることで、余計に個人が特定されることがわかりにくくなっている。
- ・今回も役場に話を聞きにいったが、個人を特定する目的は字ごとに集計して、地域ごとの傾向を調べるという意図があるとの返答であった。それなら他のやり方でできるのではないか。

また、国からの指示で実施した調査であるとのことで、おそらくひな型等があるのだろうが、全て国が示すとおりにする必要はないのではないか。

（町職員）

- ・過去にご指摘いただいていたにも関わらず、同じことを繰り返し申し訳ございません。
- ・おっしゃる通りだと思います。今、こういう必要性でやらせていただいたという回答を持ち合わせていないので、一度持ち帰って確認させていただきます。
- ・アンケート調査の内容について、全国一律に揃ったひな型で実施するという事は決

まっているものでありますが、その中でわざわざ個人を特定するやり方をするように指示があったかどうかも含め、今一度確認のうえ、また改めてお話しさせていただきます。

② 複合化施設について

(住民)

- ・現状の公民館について9月に閉鎖される予定が延期になったと聞いたが、いつまで使用できるのか。
- ・公民館で楽団のサークル活動をしているが、大きな楽器等を置く場所を新しい複合化施設にも作ってほしい。
- ・計画されている新しい図書館が広すぎるという声があったというが、私は広すぎることはないと思う。

(前川光町長)

- ・複合化施設は、令和8年度に完成の予定だったが、現在は議会で公民館の解体にかかる予算など、複合化施設に関する予算が全て否決されたため、令和8年度の完成は厳しいと考えています。
- ・公平性を担保しなければならないので、一部の団体だけに特定の場所を用意するという事は難しいが、できるだけ配慮するように検討します。

③ 学童の合宿について

(住民)

- ・保護者会が毎年実施している学童の合宿をコロナ禍の影響で中止していたが、今年から再開しようと考えていた。町からは人員不足により指導員の派遣ができないとのことであった。これは町の体制の問題であり、大人の都合で子どもの楽しみが奪われることは納得できない。活動を継続するために何とか町から協力いただけるように検討していただきたい。

(前川光町長)

- ・できる限りに前向きに検討します。保護者会の代表の方と話しをさせていただきたいと考えています。

④ 公園について

(住民)

- ・若宮前公園や中央公園などでボール遊びが禁止されている。子どもが遊んでいるだけで町に苦情があるようで、結果、その対策としてボール遊びが禁止になっている。子どもたちの体力低下なども叫ばれるなか、大人の都合で子どもの成長が制限されている。「自然豊かな子育てのまち」をスローガンに掲げている中で、大人の声だけを聞いていないか。子どもたちにも意見を言う権利はある。

(前川光町長)

・賛否両論はありますが、今後の私の方向性としては大きな公園を作っていきたい。円明寺は若宮前公園や中央公園などの広い公園があり、町内では比較的恵まれた環境ではありますが、今後は使いやすい公園にしていくためのルールづくりについて、前向きに検討していきます。

(住民)

・恵まれた環境であることは分かっているが、資源があるのに使えないことが問題ですので、よろしくお願いします。

⑤ 図書室について

(住民)

・中央公民館について、今後複合化施設の建設工事が始まった場合、その期間、図書室や調理室の利用形態はどのようになるのか。

(前川光町長)

・現在は複合化施設の建設にかかる予算が否決されたため、工事は進められないが、もし工事が始まったとしても、できる限りは利用が継続できるようにしていきたいと考えています。プレハブを建てるなど仮設の図書室を設けることが理想ですが、実態としては難しいですので、現状よりは小規模となることが想定されますが、長寿苑の一部などを活用して、何とか利用を継続できるように検討していきます。

⑥ 子どもの通学路について

(住民)

・西国街道が大山崎小学校の通学路になっているが、歩道が狭くて歩行者のすれ違いができず、いつ事故が起きてもおかしくない状況であり、心配している。子どもたちを育てていくためによりよい環境づくりをお願いします。

(前川光町長)

・ご指摘の道路は府道なので、町としては京都府への要望活動を続けていきます。

⑦ 鳥居前通学路（みやびヒルズ）の予算削除について

(住民)

・鳥居前の通学路整備についての予算が削除されたが、これからどうするのか。

(前川光町長)

・ご指摘の通学路は、新しくできたみやびヒルズの子どもたちが第二大山崎小学校へ通学する際に利用する通学路のことですが、昨年度のふれあいミーティングでこの場所についてお話が出たので、すぐに教育長と一緒に現場を確認し、街灯を設置するなどの対

応をしました。今年度に通学路の整備を予定しておりましたが、議会で予算が否決されました。現状のままでは問題があると考えておりますので、町としては引き続き議会に認められるように取り組んでいきます。

⑧ 道路について、複合化施設について

(住民)

・現状のみやびヒルズからの通学路は、雨が降ると落ち葉で埋め尽くされて、どこが溝かわからなくなる場所がある。そのような場所を通学路として子どもが通っているは大変危険ですので、早急に対応していただきたい。

・3月に開催された複合化施設に関するふれあいミーティングに参加した。令和8年度には完成するものだと期待していたが、今回なぜ急に一から計画を見直すようにとの声が挙がったのか。

今の中央公民館は雨漏りしていたり痛んだりしているので、改修ではなく建て替えが必要と感じる。

また、子育てにとって良い文化・環境があることは非常に重要なこと。現状の図書室は狭すぎるので、計画されている新しい図書館が広すぎるとは思わない。こうした住民の声が反映されるような方法があれば教えてほしい。

(前川光町長)

・ご指摘の通学路については問題があると認識していますので、できるだけ早期に改善できるように取り組んでいきたいと考えています。

・複合化施設については、引き続き議会に対して理解を求めています。

⑨ 複合化施設の設備、聴覚言語条例の周知について

(住民)

・新しい複合化施設に聴覚障がい者に必要なヒアリンググループが設置された設備を導入してほしい。先日、長岡京市の新庁舎に行き、壁にヒアリンググループが設置された会議室を利用したが、快適に話をすることができた。

・「大山崎町手話言語及び聞こえに障がいのある人のコミュニケーション手段の促進と聞こえの共生社会の実現を目指す条例」ができて3年目になる。1年目は周知に力を入れていたが、年数が経過するに連れてその意識が薄れていってしまっている。例えば、子どもたちが学ぶ機会を教育の場で設けることはお金をかけずともできると思うので、障がいを持つ人たちがいるということを皆さんに知っていただける機会をつくってほしい。

(前川光町長)

・複合化施設へのヒアリンググループの設置については、実現できるように検討していきます。

・手話の条例は令和元年度のタウンミーティングでご意見をいただいたことで、できたという経緯がありますので、町としてもその周知に取り組んでいきます。

私の意見としては、バリアフリーというのは誰もが快適に使える状態にしていけばいいと考えていますので、そういう状態にしていきたい。手話に関してはデジタル化が進むなか、タブレットの活用等様々な方法を考えていきたい。私も勉強していきますし、そのような機会を提供できたらと考えています。

⑩ 障がい者の災害時について

(住民)

・地震が発生した際、聴覚障がい者としては筆談ボードを持たずに避難することも想定され、その場合、意思の伝達ができず、コミュニケーションが取れるかどうか不安である。その解決に向けて、町が実施する防災訓練に障がい者の方も参加して、一緒に意見交換ができるような場を設けてもらいたい。聴覚障がいに限らず、様々な障がいのある方が安心して生活をするような仕組みを作っていってほしい。

(町職員)

・現状、避難所での手話通訳者の配置までは計画として持ち合わせてはいませんが、一方で筆談などの対応は可能であると考えています。

・防災訓練について、これまでは具体的に障がい者の方に参加を呼び掛けたことはありませんが、その必要性は感じておりますので、今後検討していきます。

⑪ 円明寺が丘団地の再生について

(住民)

・配布資料の令和5年度予算に円明寺が丘団地再生検討支援業務ということが書いてあるが、具体的にどういうことを実施するのか。実際、円団は高齢化が進んでいる。

(前川光町長)

・高齢化が進んでいることは認識しています。

昨年度に円団再生に向けたアンケートを取らせていただきました。

今後も様々な方のご意見を聞き、どうしていったらいいのかを考えていきます。